

当院にてご加療中の方へ

【研究課題】

検査部における新規測定試薬及び測定機器の評価（包括的申請）
尿検体採取方法および検査前処理法の検討

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院検査部
研究責任者 検査部臨床検査技師 森田 賢史
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2017年6月～2023年3月

【対象となる方】

2017年6月1日～2022年3月31日の間に当院外来受診および入院された患者さん。通常診療の一環として提出された検体の残検体を使用するため、新たに採尿を行っていただくことや、採尿量の増量をお願いすることもなく、本研究により侵襲は加わりません。

【研究の意義】

適切な尿検査を行うためには、検体の採取法や、検査を行う前処理の方法を確立させる必要があります。

【研究の目的】

本研究では、尿一般検査および尿生化学検査において、より正確な検査を行うための適切な検体採取法や検査前処理法を確立させることを目的とします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。本研究は、廃棄前の残検体を収集して行います。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当検査部において研究責任者（森田賢史）が、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。そのため、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承

承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する試薬、消耗品の経費は、中央診療施設運営費を使用します。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2018年5月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 臨床検査技師 森田賢史
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-3815-5411（内線 35022） FAX：03-5800-8630
Eメールでのお問い合わせ：moritay-lab@h.u-tokyo.ac.jp